

一般質問通告一覧表(令和7年第3回定例会)

* 一般質問日 8月5日(火曜日) 午前10時から

[illegible]

順番	質 問 者	件 名	要 旨
2	梅谷 裕規 (一問一答)	2 町の行政情報提供の充実 3 特別支援教育の充実	(3) 町ホームページをより町民の方にわかりやすく改善 ①現在のホームページの作成年月 ②ホームページ管理の主管課？ ③ホームページに「町ホームページに対するアンケートを実施しています。」と記載されています。いつから募集していますか？ アンケート投稿の件数、アンケートの主な意見およびその対応？ ④新着情報のタイトルと内容がリンクしていない例があります。 例えば、新着情報で「受託候補者の選定について」と記載されていますが、クリックすると、募集開始の案内に始まり古い案内が列挙され、一番下までスクロールするとようやく「受託候補者を選定しました」と表記され、会社名が表示されます。なぜ、この順番になるのですか？こういった例が他にもあります。少しの気づき、工夫で見やすく分かり易くなると思いますが、ホームページにアップする際の流れ、チェック機能についてご答弁下さい。 特別支援学級の新入生および進級する児童の保護者のうち、入学式・始業式前に、希望する保護者、児童と担任との懇談、顔合わせの機会を設けることはできませんか？(6月議会の再質問) (2) 通級指導教室 ①令和6年度の経過観察児童数60人に対して、通級受講者数 40人とのことです。学年別の通級受講者は？ このうち年度の途中から通級を受講することになった学年別の人数？ ②昨年度の就学相談で、就学先を通常学級で経過を観察すると答申された22名のうち、「通級を受けることが望ましい。」と記載された児童が2名いたと答弁を修正されました。 この2名はどのような基準で、「通級を受けることが望ましい。」と記載されたのですか？ ③残りの20名については1年生になり1学期が終わりました。 担任教諭や支援員から通級を受けることが望ましいという声は何人の児童に対してあがりましたか？その結果何人が受講することになりましたか？ ④あと何人が受講可能ですか？ ⑤4月から始まった中学生の通級指導の実態と効果？ (3) 教員の療育機関見学研修 ①教育と療育機関との連携は、特支担当教諭だけではなく通常学級の担任にも必要と考えますがいかがですか？ ②文科省の方針として、新規採用から10年間で特支教育に複数年携わるという方針が示されました。田原本町もこの方針ですか？ ③令和6年度に9回実施され、16人が参加されたとの答弁でした。 16人のうち通常学級の担任は何人でしたか？ 町内小中学校の教員の人数は？ うち特別支援学級の教員の人数は？ ④参加率に対する教育委員会の考えは？ 入学後の気になる児童の相談先として、児童家庭センターに業務委託しているとの答弁でした。この周知はどのようにされていますか？ (4)

順番	質 問 者	件 名	要 旨
3	平田 昌隆 (一問一答)	1 町の行財政改革の進捗状況について 2 通学路の危険個所について	(1) 令和7年度の当初予算編成に際して、上村敏之特別顧問からの助言等を踏まえ、行財政改革が強力に推進していくものと理解していますが、現状での進捗状況については、いかがでしょうか？ (2) 住民目線からも更に、財政効果を生むために、事業見直しの提案等を広く求めている事は大事だと考えますが、いかがでしょうか？ (1) 通学路の危険個所について、警察パトロールの定期的な実施要請は可能でしょうか？
4	藤井 誠人 (一問一答)	1 認知症になっても安心して暮らせる町を目指して 2 放課後は“学校の外”が本番 地域で育つ環境をもう一度	(1) 認知症フレンドリー商店制度の導入について (2) GPS・LINE活用による「日常的な見守りモデル」の構築について (3) オレンジカフェの拠点化・機能強化について (4) SOSネットワークの登録支援・周知キャンペーンについて (1) 放課後の時間を、学校の延長ではなく「地域で学び育つ時間」として捉え直し、町ぐるみで子どもたちを支える仕組みづくりについて、町としての基本的なお考えをお聞かせください。 (2) 町内にある空き店舗や自治会館、公民館、そして公園など、既存の公共空間をもっと活用して、子どもたちが放課後に安心して過ごせる「第三の居場所」を、地域と連携して広げていくお考えはありますか。
5	西川 六男 (一問一答)	1 悪化した町財政の立て直しについて 2 老人福祉センターの施設の廃止について 3 新設される保育所について	(1) 2024（令和6年）度決算の結果をどのように分析されているのか。 (2) その決算の結果を受けて財政の健全化にむけた2025（令和7）年度予算の執行方針をお示しいただきたい。 (1) 施設の管理計画について ①年々増加している利用状況の分析は。 ②施設の必要性をどのように検討し結論づけられたのか。 ③引き続き事業を継続するために施設の改修や設備の更新の考えはないのか。 ④施設の廃止の日時はいつか。 (2) 事業について ①「ふれあいセンター」や「青垣生涯学習センター」等にどのように現在の事業を振り分け、実施されるのか。 ②高齢化が進み、運転免許証を返納された方がおられるなかで、町のバスの利用は継続されるのか。 ③ゲートボール場などスポーツ施設は新設されるのか。 ④老人スポーツ大会はどのようにされるのか。 老人福祉センターの敷地を活用した高齢者福祉のための (3) 施設を、防災施設を兼ねた施設として一体的に設置する考えはないのでしょうか。 (1) その事業の目的は。 (2) 施設の場所、規模、定員など計画の内容は。 (3) 必要経費は。 (4) その財源の内訳は。 (5) 開設後の必要経費は。

順番	質 問 者	件 名	要 旨
5	西川 六男 (一問一答)	3 新設される保育所について 4 町議会議員選挙の取組について	(6) 保育士確保は。 (7) 事業者の募集方法は。 (1) 投票率を向上するための取組は。 (2) 高齢者など一人でも多くの方が投票に出かけていただくために投票所の増設を。 (3) 選挙公報の発行について ① この選挙公報に関わる要綱（きまり）は。 ② 公報作成および発行の手順等は。 ③有権者への配布方法は。 ④期日前投票者への公報の提供は。

※質問及び順番等につきましては変更になることがあります。